

第34回

パラアーティスティック スイミングフェスティバル



日時

2026年

10月4日(日)

午前10:30～演技開始

会場

京都市障害者スポーツセンター

京都市左京区高野玉岡町5番地

TEL: 075-702-3370 FAX: 075-702-3372

主催/日本パラアーティスティックスイミング協会 公益財団法人京都市障害者スポーツ協会
一般社団法人京都障害者スポーツ振興会 公益財団法人京都新聞社会福祉事業団

後援/公益財団法人日本パラスポーツ協会 一般社団法人日本パラ水泳連盟 一般社団法人日本知的障害者水泳連盟
京都府 京都市 京都府教育委員会 京都市教育委員会 公益財団法人京都府スポーツ協会 公益財団法人京都市スポーツ協会
KBS京都 一般社団法人京都水泳協会 近畿水泳連盟アーティスティックスイミング委員会 (順不同)

協賛/大塚製薬株式会社

助成/公益財団法人京都オムロン地域協力基金

協力/京都パラスポーツ指導者協議会 同志社大学学生チューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室
びわこリハビリテーション専門職大学 立命館大学産業社会学部 (順不同)

観覧
無料



公共交通機関でお越しください

※お問い合わせは京都市障害者スポーツセンターへ TEL: 075-702-3370 FAX: 075-702-3372



パラアーティスティックスイミングは、
障害の有無、性別、年齢に関わらず、誰もが取り組むことのできるスポーツです。

基本的な考え方（大切にしていること）

- 障害のある人もない人も共に、アーティスティックスイミングというスポーツに取り組む。
- 重い障害がある人も、水の特性を利用し、ルーティンを泳ぐ。
ひとりで泳げる人はひとりで、ひとりで泳ぐのが難しい人はパートナーと共に泳ぐ。
- パートナーとの関係は「介助してあげる、してもらう」という関係ではなく、共にアーティスティックスイミングの演技者である。
- 自己の可能性に挑戦し、自己実現する。

パラアーティスティックスイミングフェスティバルの概要

初年度（1992年）は7チーム計54人の参加でした。その後、毎年開催を続け、2018年度（第27回）はアメリカや台湾など海外チームを含め、計23チーム、279人が参加する大会になりました。

このフェスティバルでは、すべての演技に講評を行い、印象の深い演技に「ナイスパフォーマンス賞」が贈られます。障害の種類や程度が参加者によって大きく異なるため、採点による評価はしていません。

※ソロについては、フェスティバルとは違う日程でソロ競技会も開催しています。

- 演技種目：ソロの部（障害のある人1名で演技）
 - デュエットの部（障害のある人1名以上、計2名で演技）
 - トリオの部（障害のある人2名以上、計3名で演技）
 - チームⅠの部（4名から8名、半数以上を障害のある人で演技）
 - チームⅡの部（9名以上、半数以上を障害のある人で演技）
 - フリーコンビネーションの部（10名以上、半数以上を障害のある人で演技）
- 演技時間：ソロの部…………… 3分以内
 - デュエット、トリオの部…………… 3分30秒以内
 - チームの部…………… 4分以内
 - フリーコンビネーションの部…………… 5分以内

